

協働のまちづくり事業

地域の防災力パワーアップ事業

いわみっ子まつり（防災コーナー）

バスでめぐる地域の歴史探訪



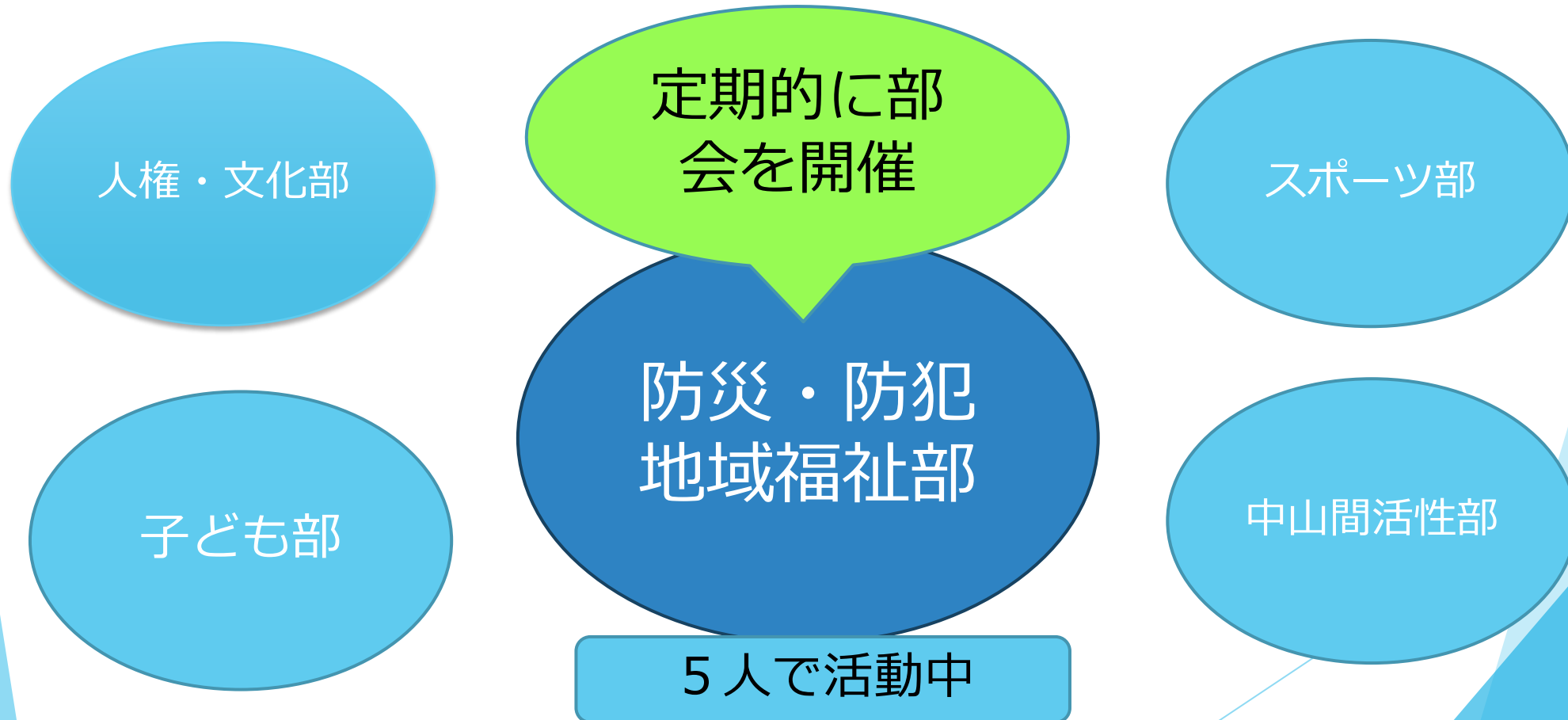
浜田市立石見公民館

石見公民館内エリア



事業の取り組みの前に・・・

- ▶ 石見公民館 運営推進委員20名のみなさんには
 - ・ 5つの部会に分かれて活動（平成27年度より）
 - ・ 地域課題に沿った公民館活動が更に充実



防災・防犯・地域福祉部として 何をめざすのか・・・

- ▶ 部員の意識向上と課題解決に向かう共通理解
- ▶ 防災に強いまちづくりに資する学習機会・情報の提供
- ▶ 各自治会での防災に対する取り組みを支援
- ▶ 町内会、まちづくり委員会、行政との繋がり作り
- ▶ 地域住民一人ひとりの防災に対する意識の向上と主体的な活動を引き出す

防災・防犯・地域福祉部として 最初の一取り組み

- ▶ 部会開催・・・具体的な活動の決定
 - ・平成27年7月 松江法吉公民館へ先進地視察
「災害時における地域での助け合い」についてのお話を聞く
 - ・防災グッズの常時展示
 - ・第1回石見地区の防災力パワーアップ講座開催
石見公民館エリア内の先進的な防災活動をされている
長沢2町内・相生2-2町内の取り組みの話を知る

地域の防災力パワーアップ事業の始まり



第1回地域で防災！先進事例を聞こう
～地域の安全安心は地域の力で～

安全安心推進課「防災の取り組みについて」
相生2-2町内「昭和63年の水害を教訓に」
長沢2町内「自主防災会の取り組み」



非常持ち出し袋の展示



2 7年度の2つの活動を振り返ってみて...

★松江法吉公民館 先進地視察

- ・いかに住民の主体的な活動を引き出すかが重要。
- ・まずは、行政、町内会、まちづくり組織と連携し現状を整理、勉強会を重ねながら、地域の防災力を高めていく

そのために・・・防災活動が活発な町内の取り組みの話を聞く講座の開催

★第1回石見地区防災力パワーアップ講座

- ・各地域で防災について意識を持っている方が増える事が大切。講座や教室など公民館事業を知って、参加してもらいたい。

そのために ①防災講座を継続するために、公民館エリアの自治会や町内と繋がる。（情報発信、回覧の仕組みづくり）

春のいわみっ子まつり

防災コーナーを設ける

- ▶ 防災・防犯・地域福祉部の活動の一つとして、防災の意識向上をめざし新たにコーナーを持つ。
- ▶ 小学生、中学生、県大生、保護者さん、まつりに参加された方に・情報伝達訓練・炊き出し訓練
・初期消火訓練をスタンプラリー方式で体験。



水消火器体験



伝言ダイヤル体験



おにぎりづくり体験



くど・釜の炊き出し体験

いわみっ子まつり

スタンプラリー



安全安心推進課より
くどの使い方を学ぶ



もしもし、
お母さん
私は公民館
にいるよ。
心配しない
でね。

伝言ダイヤル体験

石見地区の防災力パワーアップ講座に参加された地域の方から

- ・ 今後、自分の町内の自主防災組織の立ち上げに役立つ話が聞けた。
- ・ 誰かがやってくれるのではなく、一人ひとりが役割を担うべきと思った。
- ・ 普段から町内の皆さんとのお付き合いが大切と感じた。
- ・ 何かにつけて、集まって顔を付き合わせて話し合うことが大切。
- ・ 講座に来て、防災意識が薄れていると感じた。続けて開催してほしい。

防災・防犯・地域福祉部会より

- ・ 今後も続けて防災講座を開催し、地域の方の意識向上につなげたい。
- ・ 来年度も防災事業の継続を考えると行政やまちづくり委員会、町内会繋がりを深めたい。中学生や保護者を巻き込みたい。公民館だよりの回覧の仕組みを作ろう。

平成28年 協働のまちづくり事業 地域の防災力パワーアップ事業

事業の目的

- ▶ 地域住民の交流や繋がりを深め、多世代の参加で防災の意識を高める。
- ▶ 子どもたちの学びの場として、防災体験をする。
- ▶ 防災講座を開催しシニア世代の防災意識を高める。
- ▶ 地区内の防災組織の立ち上げを支援する。
- ▶ 防災に強いまちづくりを推進する。

協働のまちづくり 地域の防災力パワーアップ事業

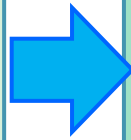
見込まれる成果・効果

- ▶ 自主防災組織を立ち上げようとする人材が増える。
- ▶ 町内活動から、まちづくりに目を向けリーダーとなる人材が増える。
- ▶ 若者からシニア世代まで一人ひとりの防災意識を高めることができる

住民の動きをつくる事業の性質

★きっかけづくり

- ・ 公民館内に非常持ち出し袋の展示
- ・ 防災講座を年1回開催
- ・ 防災に関する体験の機会を設ける
- ・ 事業を告知する回覧の仕組みづくり
- ・ 公民館まつりで防災コーナーを持つ



★動きづくり

- ・ 非常袋の必要性を話し合う場づくり
- ・ 先進的に活動する町内会の話しを聞く講座や気象台の出前講座の開催
- ・ 公民館まつりで炊き出しや伝言ダイヤル、水消火器、備蓄食品の試食体験
- ・ エリアの町内会長と繋がり情報提供

★まちづくり実践活動の姿

- ・ 非常持ち出し袋や備蓄品を準備する事で災害に備える意識を持つ
- ・ 回覧等により防災講座を知り参加
- ・ 災害の意識を強めることによりまちづくりに繋がる



事業の概要 ふるさと再発見事業として 平成28年6月19日 ～いわみっ子まつりで行った防災体験を中学生に～ 一中2年生防災を兼ねた親睦会の開催を支援



事業の概要

ふるさと再発見事業として 平成28年6月19日

～いわみっ子まつりで行った防災体験を中学生に～
一中2年生防災を兼ねた親睦会の開催を支援



事業の概要

ふるさと再発見事業として 平成28年6月19日

～いわみっ子まつりで行った防災体験を中学生に～
一中2年生防災を兼ねた親睦会の開催を支援

防災の大切さを改めて
知ることができた

学校や地域の皆さん
との繋がりが更にで
きてとてもうれしい

防災訓練はまじめ
すぎる印象があっ
たが、貴重な体験
だった



実行委員の保護者さんが作成された報告書

事業の概要

石見公民館だよりの地域回覧仕組みづくり

防災講座の開催を地域みなさんに周知してもらうため、町内会長
自治会長に説明会を実施

- ▶ 公民館の役割と機能を知ってもらう
- ▶ 公民館のエリアの町内数や世帯数、人口、公民館が目指すもの
- ▶ これまでできなかった公民館だよりや事業の案内チラシ等の回覧。それをするために協力してもらいたい



公民館だよりの町内回覧について、地域の皆さんに情報を届けるためぜひご協力下さい。

石見公民館だよりの地域回覧仕組みづくり

- ▶ 石見公民館エリアには101町内あり範囲は広大である。
- ▶ 自治会長、自治公民館長、町内会長など各町内で代表の方に説明会に参加してもらい町内回覧の了解を得ることが出来た。
- ▶ 回覧文書を公民館まで受け取りに来ていただけることに概ね了解を得る事ができた。
- ▶ まだ一部の町内では、回覧が出来ていないが今後繋がりを持てるように努める。

事業概要

第2回石見地区防災力パワーアップ講座

松江地方気象台出前講座

平成28年11月15



講座の前に防災食の試食会



事業概要

第2回石見地区防災力パワーアップ講座

松江地方気象台出前講座

平成28年11月15日

アンケートより

チラシ、回
覧で知った

女性
60代
70代

町内は防災
活動がない

来て良
かった

防災食を初め
て食べた
美味しかった

今後も講座を
続けてほしい

私の町内に防
災活動があれば参加したい

事業の概要

バスでめぐる地域の歴史探訪

～第二浜田ダム見学と幻の鉄道機構散策～

- 参加者は石見公民館をご利用の地域のみなさん
- 60代、70代、80代のご夫婦や友達関係

公民館の事業への
参加

防災講座の周知

防災事業への参加

防災意識の高揚



成果

○先進町内講師2名の方

天野さん・石見公民館の運営推進委員として、防災・防犯・地域福祉部員として、力を発揮。

小川さん・町内のみならず、まちづくりのリーダーとして、学校支援事業の講師として活躍。

○小学生、中学生、若い親世代にも関心を持ってもらえた。

○回覧から情報を得て、初めて公民館事業（防災講座）に参加した。

（シニア世代）

課題

○防災講座を定例化してシニア世代の学習機会にする。

○防災講座の参加者を増員する。

○公民館だより、全町内回覧。

改善点

- 防災組織の立ち上げについて市と連携しながら組織作りの支援を行う。
- 中学生と保護者を対象とした防災学習を今後継続して行えるように支援する。
- シニアの方の防災意識を高め参加しやすい日時について考慮する。

地域の防災力パワーアップ事業 いわみっ子まつり（年2回開催）

おわりに

29年度は中学生の
ふるさと学習に繋がる予定です

平成29年3月26日（日）

10時～15時

春のいわみっ子まつり開催

防災コーナー…クロスロード開催

遊びに来て
くださいね